

新緑の候 宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部の皆様には恙なくお過ごしのことと、大慶に存じます。また皆様には当支部運営に際し、特段のご高配を賜り感謝申し上げます次第です。

さて今年の桜は、まるで平成の世を名残り惜しむかのような見事な咲きっぷりを見せてくれて、3月30日の都城駐屯地観桜会、4月2日UMKTV主催の垂水公園花見会、そして4月5日の新田原基地観桜会など、全て満開の桜の下で気分良く、大変美味しいお酒を皆さんと頂きました。

4月7日は横須賀の武山駐屯地で65期高等工科学校生徒入校式が花曇りの中、盛大に挙行され、全国から選抜された346名の若桜達が大きな、そして元気な声で宣誓書を読み上げて、聞いていた我々も大いに安心し、頼もしく感じたところです。

また4月10日はNHKTVニュース等でも大きく報道されましたが、東京国立劇場での「天皇陛下御即位30周年奉祝祭典」に参列させて頂き、安倍総理を始め衆参両院議長やノーベル医学賞の山中京大教授等の錚々たるご来賓が壇上に居並ぶ中、北野武監督？がお約束のようにぼけをかまして、生真面目な皆さんが笑いを堪えるのに苦労されている様子が誠に印象的でした。

この祭典は超党派の国会議員連盟と財界を中心とする民間団体の共催で、約1800人が参加したそうですが、壇上に居並ぶ与野党の党首の中に共産党と社民党首の姿はついで見つけられずに、私の目の前の席には蓮舫さんの細い首と小さな頭がちょこんと見えました。

前段は各界代表のお祝いスピーチが約1時間、後段はNHK交響楽団有志の演奏に始まり、長崎出身の歌手「MISIA」、「松任谷由実」、「ゆず」等が各々の楽曲を歌った後で、天皇、皇后両陛下の詠まれたお歌に「松任谷正隆」氏が作曲した奉祝曲をピアノ伴奏し、ユーミンとゆずのコーボで、素晴らしいハーモニーに心底酔いしれた次第です。

多忙な安倍総理も最後まで会場に残られたようで、会場出口で総理のSP達に行く手を阻まれたところ、目の前を総理一行が乗った車列と遭遇し1m位の近さで安倍総理と相まみえると云う偶然も重なり、想い出深い国立劇場の祭典となりました。

翌11日は新任の中尾43連隊長歓迎会が都城の中山荘で開催され、3月末の観桜会に続いて2度目の交歓でしたが、伺いますればフルマラソンやゴルフが大好きなスポーツマンらしく、長身瘦躯のスレンダーな中尾連隊長の体型を拝見すればなるほど頷ける訳で、いずれかの機会に是非ゴルフでもお手合わせをお願いせねばと考えたところです。

先月から今月にかけての一連の「お御代替わり」の行事は誠に繁忙を極め、なお先程ご紹介した「御即位30周年奉祝祭典」は、同時に「ご成婚60周年」でもあったようで、4月30日は「今上陛下ご譲位及び退位礼正殿の儀」、そして、5月1日は「新天皇陛下御即位」、「剣璽等承継の儀」、「即位後朝見の儀」へと続きます。

更に5月3日の憲法記念日は14時より、宮日会館にて「公開憲法フォーラム」を開催しますのでGW期間中ではありますが、同封資料をご覧頂き皆様のご参加をお待ちしています。

「目に青葉、山不如帰、初鯉」と思わず眩いてしまう程の1年で最も良いシーズンを迎え、元号も平成から令和に変われば、なんだか気分も一新されて何か良いことがありそうな予感がするのは私だけなのでしょうか？

昭和から平成に変わったときに沈痛な想いしか残っていないのは、「崩御」と云う悲しくも厳しい現実があり、とても改元を喜べるような雰囲気では無かったような気がします。

改めてこの度の今上陛下のご決断に、深甚なる敬意を表する次第です。

今月もまだお御代替わりの行事などが続きますので、皆様体調管理には十分ご注意を頂き、呉々もご自愛専一にお過ごし下さい。

令和元年5月1日

宮崎県防衛協会青年部会 宮崎支部長 小倉和彦